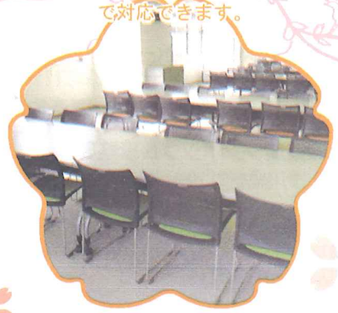
information

富士市民活動センター　コミュニティｆは、
富士市内の市民活動を応援するための施設です。

ミーティングルーム

常時は１ブース12名の配置ですが、人数や会議スタイルによって50名ほどまで対応できます。



定員12名の完全個室の会議室です。経営的な会議や、相談業務などにご利用下さい。

交流スペース

ネット閲覧PC3台常設。自動販売機もありますので、ちょっとした打合せや休憩にご利用下さい。

特別会議室

印刷コーナー

大量印刷

片面・両面印刷対応。資料作成などにご利用下さい。

（※注）印刷は合計10枚以上からです

	普通紙	厚手マット紙	両面加算
白黒　A4	3円	6円	2円
白黒　A3	4円	9円	2円
カラー　A4	11円	14円	10円
カラー　A3	12円	17円	10円

大判印刷

A1判・A2判・横断幕の印刷も可能です。

- A１判…400円
- A２判…800円
- 横断幕（1mあたり）…1000円

断裁機、折り機、丁合機も揃っています

裁断機

最大断裁厚約200枚、断裁奥行：310mm（A4長辺）まで裁断可能です。

無料

織り機

ご希望の折り方に折る機械です。用紙サイズにより不可ありです。

無料

丁合機

複数の印刷物を頁順に並べ揃える機械です。

無料

その他のご利用できるサービス

印刷機、大判出力、折り機、丁合機、交流サロン、メールボックス、ロッカー、インターネット利用、その他相談等

NPO設立・運営に関するお問い合わせも随時うけたまわっております。

コミュエフはみ出し情報　会議室の空き状況をチェック！

４月より富士市役所ホームページの「富士市公共施設案内・予約サービス」にて、コミュニティｆの「会議室空き状況」が見られるようになりました。
但し、インターネットからの予約申込は出来ませんので、必ず来館またはお電話にて予約をお願いいたします。

富士市民活動センター　コミュニティｆ

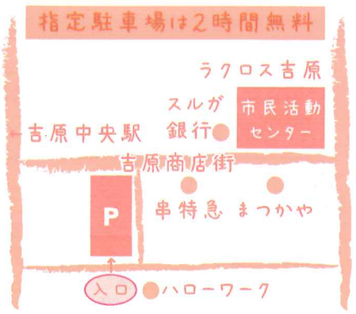
富士市吉原2-10-20 ラクロス吉原　2階

＊Tel＊ 0545-57-1221　＊Fax＊ 0545-57-1091

＊E-mail＊ info@com-f.net

＊HP＊ http://www.com-f.net

＊開館時間＊　月曜－土曜　10:00～22:00
日曜・祝日　10:00～17:00



編集後記　もうすぐ春ですね♪この時期は、春眠暁を覚えず（春の夜は眠り心地がいいので、朝が来たことにも気付かずについ寝過ごしてしまう）という。だけどよーっく考えたら一年中でした（u_u）。o○Zzzz

富士市民活動センター・コミュニティｆは、ＮＰＯ法人東海道・吉原宿が指定管理者として運営を行っています

編集・発行　富士市民活動センター・コミュニティｆ
静岡県富士市吉原 2－10－20　TEL 0545-57-1221　FAX 0545-57-1091　http://www.com-f.net

富士市民活動センター コミュニティニュースf

連載

2010.03.01 第9号

Community f Photo Gallery

そこが知りたい！コラム

市民活動団体からの催事・お知らせ 掲示版

NPOまんが エヌピ夫くんが行く

コミュニティｆ Information

特集●巻頭インタビュー

私と市民活動

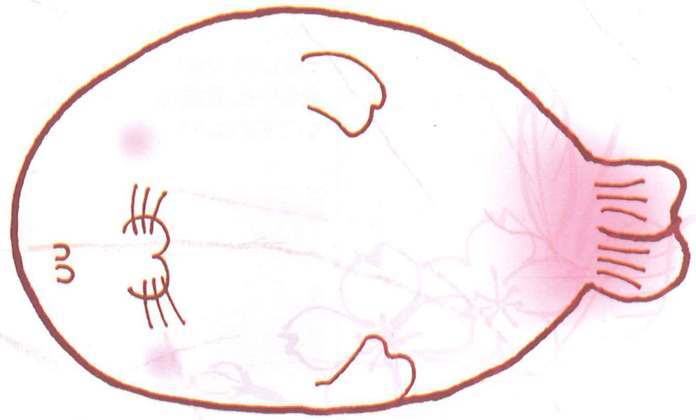
荻野幸太郎さんに聞く

イベントレポート

第6回 しずおか町並みゼミ in 吉原宿

い・ろ・ん・な・な・か・ま

ふじ「1/4の奇跡」を上映する会



この広報誌は富士市民活動センターの印刷機「オルフィス」で印刷されています

荻野幸太郎さんに聞く

私と市民活動

昨年末より、月に1回ほどコミュニティfを会場に「プラットフォーム静岡 タウンミーティング」という会議が開催されています。この会議は市民誰もが参加でき、富士市内の市民活動や社会問題に対して自由に議論するというものです。主催しているのはNPO法人プラットフォーム静岡。この会議のコーディネート役を務めるのが代表の荻野幸太郎さんです。

今回は荻野さんにご自身と市民活動の繋がりを伺いました。

— このタウンミーティングはどんな目的で開催していますか？

荻野　何かに賛成するために皆で集まりましょうというイベントはあっても、賛成の人も反対の人も一緒のテーブルについて自由に話しましょうというイベントはなかなかありません。このタウンミーティングは、自由な議論の場を目指しています。

— 会議の手ごたえはありますか？

荻野　議題について賛成の立場でも、皆さんが自由に意見を述べることができたので、大変良かったと思っています。

— タウンミーティングで大切にしていることはどんなことでしょうか？

荻野　謙虚にいろんな人の意見を聞くことでしょうか。意見を述べてくれる人の話をちゃんと聞いていると、その人なりの背景があります。まずはどういう意見が社会の中にあるのかということをしっかり聞いて適切に理解していかないと、賛成・反対の議論も始まらないですよね。

— 荻野さんが今後目指していきたいものはなんでしょうか？

荻野　「プラットフォーム静岡」のプラットフォームは『土台』という意味なんですが、静岡県全体でいろんな人たちが自由に議論できる、いろんな提言のできる為のプラットフォームになりたいと思っています。

なぜ議論が大事かと言うと、現代社会には簡単に解決できない問題が山積みで、市民が何も考えずにいると、社会が極端な方向に流れやすくなってしまうからです。例えば、外国人犯罪が起こると、瞬間的に世論が沸騰して、「外国人を追い出せ」といった具合に、極端なことを言い出す人が出てきてしまう。社会問題が深刻なほど、それについて考えることに人々は疲れていって、そのうちに極端な意見が通ってしまう日が来るかもしれない。でも常に議論を続けていれば、極端な意見に対して免疫を作ることができます。

気の長い大変な方法なんだけど、社会が元気なうちに病原菌を自分の中に打って抗体を作る、つまりは「普段から面倒くさい問題を楽しく考えようっ！」というのが、このタウンミーティングの趣旨です。

— 次回のタウンミーティングはどんな内容を予定していますか？

荻野　富士市と富士宮市との合併についての話し合いをしたいと思っています。賛成の意見と反対の意見を、噛み合わせる最初のところを大切にしていきたいです。富士市と富士川町の合併時にはできなかったことなので、より多くの意見を交わしてみたいと思います。

— 荻野さんが市民活動を意識し始めたきっかけはどんなことでしょうか？

荻野　学生時代にフリースクールでボランティアをしていました。

当時、NPOという言葉が少しずつ知られるようになり、そのフリースクールでもNPO化が検討されていました。たまたま私は法学をやっていて、行政書士の試験にも合格したばかりだったので、NPO関連の法令についての調査を任されました。NPOの制度について調べていくうちに、市民活動の可能性に気がつき、いろいろな分野で社会をよりよくしていけるのではと大変興味を持つようになりました。

— 具体的にとりかかった市民活動にはどんな事がありましたか？

荻野　最初に関わったのは、不登校やひきこもりの人たちを対象とした支援活動です。

これらの支援は、心理的ケアの部分ばかりが注目されがちですが、実は「社会制度からの阻害」をどう防いでいくかが重要だと考えています。

現状を見ると、非正規雇用の増大によって不安定な立場の若者が増えてきているという問題と、発達障碍者や性的少数者などのマイノリティが学校や職場から阻害されているという問題の二つがあって、それらが複雑に絡み合っています。

NPO法人リフージョは、不登校の経験者が、特に制度的な面で困っていて、ひきこもりに転落することを防ぐために、その後の人生をどう設計していくのかという部分のサポートをしています。

個々の事情や希望に応じて、進学相談をしたり、NPOでの就業を紹介したりといったこともしてきました。

— 他市の市民活動やNPO活動の視察や勉強会などにも参加されているそうですが？

荻野　県内の他市町と比較して、富士市は、NPO・市民活動に関する制度については進んでいる自治体です。

例えば富士市の「市民活動支援助成金」の制度は、先進事例として近隣の市町でも研究されています。

また、富士市民活動センターも、利用者数がとても多く、満足度の高いセンターとして知られています。県内外からの視察も多いですし、全国的に注目されている市民活動センターではないでしょうか。

— 富士市内のNPO活動について率直な意見を聞かせてください。

荻野　数は少ないですが、活動の充実している団体が多いと思います。

よその市町では、「良いことをしているんだからお金をくれて当然」とか、「ボランティアなんだから、事務局は役所がやるのが当然」というところで、議論が止まってしまって、行政に文句ばっかり言ってるNPOが少なくありませんが、富士市は、そういった次元はとっくに卒業して、行政や企業との新しい協働のあり方を建設的に提案するレベルの高い団体さんが多いように思います。

富士市には、市民と市役所と市議会が、とても率直に意見交換をできる環境があります。そういった中で、規模の大きい団体も、小さい団体も、それぞれの立場の違いを乗り越えて、新しい公共のあり方を積極的に模索しているように感じます。

NPOと役所が対立関係にあったり、市議会がNPOに無関心といった市町が多い中で、富士市のこのような雰囲気はとても貴重です。

荻野幸太郎さん●プロフィール
1980年富士市生まれ。小学校高学年から不登校。大検と単位制高校の併修で高卒資格を取得後、放送大学で学士号・修士号を取得。2006年NPO法人リフージョ設立。ひきこもりや不登校の支援を行う。2008年より富士市協働推進懇話会委員を務める。2009年NPO法人プラットフォーム静岡設立。代表となる。現在、静岡大学大学院在籍。好きな作家は村上春樹。

— 市民活動をめざす方にメッセージを。

荻野　市民活動には問題発生はつきものです。辞めて新しいものを始めるのも手ですが、問題があって当然！
順調な市民活動はありません。何事にもトライアルandエラーです。

NPO活動は隙間産業。僕の生き方はそこに繋がっています。

— プラットフォーム静岡に問題は？

荻野　いつもいつも問題だらけです（笑）。毎日試行錯誤しながら、でも大丈夫です。もともと世の中はうまくいかないものだから、ましてやその問題に対応しようという市民活動はうまくいかなくて当然なんです。世の中うまくいっていないからこそ、そのために始めたNPOですから。

— これから挑戦してみたいことは？

荻野　静岡県内全域をフィールドワークして、インタビュー集や歴史、社会問題が一括して繋がっていくような、静岡NPO大百科をネット上に作ってみたいですね。

— ありがとうございました。

第6回 しずおか町並みゼミ in 吉原宿

**吉原は東海道14番目の宿場町。
でも、今はちょっと寂しい商店街。
このゼミは、どこにでもありそうなまちの可能性と
地元の人では、気がつかないこのまちの魅力を探す
ことが目的です。**

主催:しずおか町並みゼミ世話人会

2月13日、朝9時に東京や伊東市、新居町などの各地から約30人がコミュニティｆに集結。
冷たい雨の降る中、10時から吉原界隈の町並みや文化を知るために3つのコースに分かれて、まち歩きがスタートしました。

『吉原宿の面影と伝説を訪ねるコース』では、吉原祇園祭で使う屋台や明治期の擬西洋風建築で建設された医院などを見学。
吉原は、明治期の大火の影響や高度成長期の防災建築街区事業をすすめたことから伝統的建築物は少ない町です。このような明治から昭和初期にかけての建築物はとても希少です。

まちの駅　駅長の 水谷さん

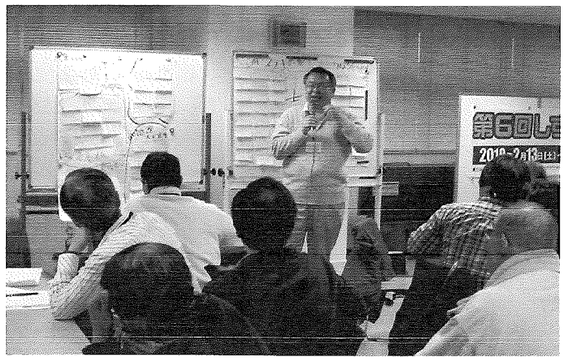
吉原宿の面影と伝説を訪ねるコース

午後は、再びコミュニティｆに戻り、まちの駅「鯛屋旅館　吉原本宿」駅長の水谷利江子氏による『吉原におけるまちおこしとまちの駅の役割』と題した講演が開かれました。
水谷さんが現在の職に就くまでの経緯や、まちづくり組織の現在の活動状況をお話していただきました。

「皆さんが吉原のここが良い、悪いと解剖していただければ、それが市や町を動かせる力になると思う。
また吉原は過去の街と言われるが、現在、そして未来の街へと変えていきたい。」とおっしゃっていました。

その後、4グループに分かれ、それぞれの提言を掲げたワークショップと報告会がありました。
「商店街が活性化するベースが出来ている」、「ランドマークがない」、「ソフトは充実しているが、ハード面が整備できていない」、「本物志向の人や旅行者にもっと古い建築物や伝説をアピールした方が良い」など短時間で様々な意見交換が行われました。

そして、これからの吉原に対するキーワードを発表した後、参加者全員で記念撮影をして閉会となりました。

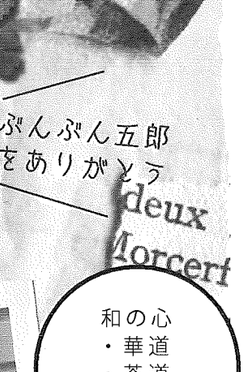

ワークショップの様子

Community f Photo Gallery

いつもコミュニティｆをご利用いただきまして
ありがとうございます。

吉原第一中学校　就労体験
2010.02.10

ご掲載希望のご利用団体様はスタッフまで。。。


ぶんぶん五郎
をありがとう
deux
Morceau

和の心
・華道
・茶道
を体験しました。

ガールスカウト富士地区
2010.01.10

そこが知りたい！コラム　VOL.7　うつ症状ってどんなもの!

厚生労働省の「患者調査」なるものを見て、驚いたことにうつ患者が増え続けて2009年12月発表の最新調査結果でうつ病患者約70万人を含む気分障害の患者が100万人を超えたそうです。うつ症状とはどんなものでしょうか。

●従来型うつ病：気分が落ち込み、思考、判断、集中力に欠け自殺したいと思う状態
几帳面で何事において完璧主義タイプで中高年層に多く発症

●新型うつ病：気分や症状が状況に応じて変化する。思い通りにいかないことが続くと理想と現実のギャップに悩みストレスを感じる一見すると軽いうつ症状
真面目で負けず嫌いなタイプで若年層に多く発症

いずれにしても一度かかると治療に時間がかかるため、日頃から自分にとって十分な睡眠、食事、運動と適度な休養をし、心の状態を自分でケアすることが予防となるようです。

ふじ「1/4の奇跡」を上映する会　望月 佑子さん

「1/4の奇跡」とは、どんな映画でしょうか？

主婦で二児の母である入江富美子さんが自主制作したドキュメンタリー映画です。特別支援学校の先生・山元加津子さんが、子供たちとのふれあいの中で出会った「生きることの素晴らしさ」を描いた、感動のドキュメンタリーで、'07年の初上映以来、口コミで自主上映の輪が広がり、これまで全国各地で500ヶ所、さらに海外でも上映されています。

この会がスタートしたきっかけを教えてください。

私がこの映画に出会う前、入江さんの講演会が行われていることを知りました。その講演会のDVDを見て、彼女が映画を通して伝えたいメッセージと熱意に心打たれました。その後私の友人たちにも見てもらい、皆、「彼女がつくったこの映画を見てみよう!」と心が一つになったのがきっかけです。自主上映という形で、私たちグループだけでなく、多くの人たちにこの感動を伝えられたらと思い一念発起しました。

活動の様子を教えてください。

現在、主婦の人たち中心の7名のメンバーで会を運営しています。上映会当日のボランティアスタッフを集めたり、ブログの作成、後援依頼、チラシ・ポスター作成、チケット販売の準備などをすすめています。私たちメンバーにとって、大きなイベントを立ち上げるのは初めての試みですが、富士での上映を成功させるべく、皆一丸となって取り組んでいます。

最後にメッセージをどうぞ

「すべてのことやものは必要があって存在していること。みんなが違っていていい。」というメッセージが、感動という言葉だけでは言い尽くせないほど、心に響きます。魂を揺さぶる映画です。一人でも多くの方たちに見に来ていただきたいと思います!

自主上映会

1/4の奇跡
～本当のことだから～

2010年5月4日（火）
ロゼシアター 小ホール

午前の部10:30～12:10（10:00開場）
午後の部13:30～15:10（13:00開場）
入場料大人1000円
高校生以下500円
未就学児無料

チケットのお申し込み・お問い合わせ

●電話　090-6766-7523（望月）

●Eメール　hamham63@yahoo.co.jp（丸山）
※メールでお申し込みの際は、下記項目を必ずご記入下さい。
・お名前(フリガナ)
・ご連絡先(電話番号・メールアドレス)
・ご希望の時間帯(午前または午後)
・参加人数(大人、高校生以下、未就学児)

●ロゼ・チケットセンター窓口でも前売り券をご購入いただけます。なお、ロゼチケットセンターではインターネット・電話での申し込みはできませんのでご了承下さい。

耳の聞こえにくい方もご鑑賞いただける、**日本語字幕付**の上映会です。その他、お体のことなど何かございましたら、お気軽にお問合せ先までご連絡下さい。

市民活動団体からのお知らせ

研修会

児童精神科医・佐々木正美先生の子育て応援研修会

子どもをまるごと受け入れる

～発達障害の子どもを思春期の不登校や非行から守るために～

●日時　平成22年3月22日(月・祝)10:00～12:00
●会場　ラ・ホール富士(富士市中央町2-7-11)
●受講料　2000円
●申し込み　事前の申し込みが必要です
先着200名
TEL　0545-65-4187（ゆめ・まち・ねっと）
「ゆめ・まち・ねっと」HPからも申し込みできます。

シンポジウム

明日の女性の健康を考えるシンポジウム

乳がん・子宮がんの予防

●日時　平成22年5月8日(土)　13:00~15:30（開場12:30）
●会場　富士市ロゼシアター　中ホール（富士市蓼原町1750）
●参加費無料　定員700名　託児あり(無料・要予約)
●申し込み　女性の健康シンポジウム事務局
〒416-0955　富士市川成新町295　船津クリニック内
FAX　0545-65-7273
住所・氏名・年齢・電話番号を記入の上、FAXまたは郵送にて上記事務局まで申し込むか、直接窓口へお越し下さい。（申し込み締切　4月15日）
●お問合せ　平日13:30～14:30　TEL0545-65-7272　船津クリニックまで

セミナー

第2回　f-Biz地域活性化セミナー

真の社会企業家像を探る!

●日時　平成22年3月14日(日)
・午前の部　10:00～12:00　（パネルディスカッション）
・午後の部　13:30～15:30　（3つの分科会に分かれてのパネルディスカッション）
●会場　ラ・ホール富士(富士市中央町2-7-11)
●参加費無料
●申し込み　①名前②会社名または団体名③電話番号④メールアドレス⑤お住まいの地域⑥参加するセミナーの名称を明記のうえ、メールまたはFAXにて、「富士市産業支援センターf-Biz」まで。
●主催　富士市産業センターf-Biz(エフビズ)
TEL　0545-30-6363　Fax　0545-30-6364
Email　info@f-biz.jp

映画・イベント

"すべての食材をオーガニックにする"
前例のない試みに挑戦した南フランス・バルジャック村の一年を追ったドキュメンタリー

映画「未来の食卓」上映会

●日時　平成22年5月9日(日)　9:30～
●場所　JA富士市ホワイトパレス（富士市青島200-1）
・映画「未来の食卓」上映会　9:30開場 10:00開演
・ファーマーズマーケット　10:00~15:00
・分科会でのワークショップ　13:30～15:00
●チケット　前売り券　大人1500円・中高生1000円
当日券　大人1800円・中高生1300円
（いずれも小学生以下は無料）
●お問合せ　ONE LOVE実行委員会　www.onelove.jp
TEL　090-3157-1878（神田有理子）
web　yuriko@onelove.jp